

仕様書

1. 件名：DXによる持続可能な地域の健康づくり・地域福祉システム検討業務

2. 課題と目的

合志市は「健幸都市こうし」をスローガンに市民の心と体の健幸に加え、まちの健幸の実現に向けた基盤づくりを進めている。今後は人口減少・少子高齢化が進行し、労働者不足、後継者不足、地域活動の担い手の減少は、喫緊の課題となっている中で、地域の活力を維持し、発展させるため、持続可能な地域づくりに取り組む必要がある。

その中で、合志市健康福祉部と合志市社会福祉協議会は、高齢者、障がい者、子育て、住みよいまちづくり事業の推進母体であり、ヘルスケアサービスを通じて、市民の健康増進、関連する産業の振興を目指すウエルネスシティこうしと連携した事業を展開している。

日本人の平均寿命が延伸する中、団塊の世代が75歳以上となる2025年を間近に控え、高齢者自らの意思に沿って、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の実現が望まれるが、地域福祉の最前線で市民接点を担う合志市健康福祉部と合志市社会福祉協議会は、従前からアナログな手法により報告書や情報共有を行っており、データの蓄積、共有、利活用、連携について課題がある。

地域包括ケアシステムを実現するために官民が連携し公的サービスと公的保険外サービスを連携させ、双方の利用者情報やノウハウを共有し、限られたリソースで持続可能な健康づくり推進体制、地域福祉の体制整備を実現する必要がある。本業務では現在の業務フローを分析し既存のシステムを活かすことを原則として、DXによる効率的な支援体制整備の在り方を検討する。

3. 概要

合志市健康福祉部と合志市社会福祉協議会が取り扱う相談業務のワークフローと取り扱うデータの内容を分析し、既存のシステムを活かすことを原則として、システム間の連携方法やデジタル化の要件定義を行う。また、将来的にウエルネスシティこうしをはじめとした関係機関と連携することを前提とし、データ連携基盤への接続を想定した設計とする。

4. 完了期限：令和6年3月24日

5. 業務内容：

1) 現行業務の明確化

- ・ 業務内容とシステム機能の対応関係を調査し、業務の流れを明らかにする。
- ・ ヒアリングで得た業務の情報をもとに業務全体の仕様を明らかにする。
- ・ 業務で扱うデータの全体を明らかにする。

2) 現行システムの明確化

- ・ システムの機能(画面・帳票等)を明確にする
- ・ DB、に定義されている属性(データ型、サイズ)を明確化する
- ・ 他システムとの連携データの形式や項目の内容を明確化する

3) アナログ業務のデジタル化要件定義

- ・ システムの機能に満たすべき項目とシステム間の連携方式
- ・ システムにおいて利用するデータに関する要件
- ・ 情報システムの形態、アプリケーションが満たすべき機能に関する要件
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等、システムの基盤に関する要件
- ・ 運用、性能、信頼性、操作性、セキュリティ、保守性、移植性などに関する要件

5. 提出物および提出先：

- ・ 実績報告書 紙媒体 3部 デジタルデータ 1部 (CDもしくはDVDにて納品)

・提出先：ウエルネスシティこうし事務局 合志市御代志1661-1ルーロ合志3階0

6. その他

- ① 受託者は、本仕様書に基づいて、誠実に業務を遂行しなければならない。
- ② 本仕様書の内容、解釈等について疑義が生じた場合、その他特に必要があると認められた場合は、事前に協議の上、決定、解釈を図ること。この場合、当協議に関する議事録を作成の上、確認をとること。
- ③ 受託者は、事前に情報開示者の文書による承諾がない限り、秘密情報を本件検討の目的以外には、使用してはならないものとする。
- ④ 受託者は、事前に本市と文書による承諾を取った上で第三者に作業を委託できるものとする。その場合、第三者に対して目的遂行に必要な限度において秘密情報を開示することができるものとする。ただし、受託者と同等の管理を行うものとする。